

International
Symposium

Climate Justice Now! Japan's Role Towards Achieving a Just and Equitable Transition in Asia Pacific



[日時 / Date]

2024年7月20日[土]

14:00~17:30 (13:30開場)

2024 July 20th Saturday 2:00pm-5:30pm
Door open 1:30pm

[会場 / Venue]

法政大学 市ヶ谷キャンパス
外濠校舎S406 (東京都千代田区)

Hosei University Ichigaya Campus
Sotobori Building S406

[申し込み / Sign Up]

参加費無料
Free Entry

要申し込み!



シンポジウムは会場参加とオンライン参加が可能です。
いずれの場合も事前申し込みが必要です。右上の二次
元バーコードを読み取り、FoE Japanのサイトからお
申し込みください。

国際シンポジウム

気候危機と
たたかう
アジアの人々
「公正な移行」の実現に
むけた日本の役割



28UAE



United Nations
Climate Change



COP28UAE





候危機の影響が世界中で深刻化しています。世界気象機関 (WMO) の報告によれば、2023年は記録上最も暑い年でした。日本でも、猛暑や豪雨などの異常気象が頻発し、驚きや戸惑いを感じている方も多いのではないでしょうか？

昨年12月に開催された第28回気候変動枠組条約締約国会議 (COP28) では、「化石燃料からの脱却」が合意されました。この歴史的な合意を実現するために、世界では、化石燃料産業など排出の

多いセクターで長年働いてきた労働者やその産業で成り立ってきた地域、そして今まで社会の中で周辺化された人々が取り残されない形でいかに脱炭素社会へと移行するかという「公正な移行」に関する議論が、いま大きく注目されています。

本シンポジウムは、アジア10カ国以上からゲストをお迎えし、アジアにおける気候危機の実態について生の声をお届けするとともに、脱化石燃料社会にむけてすでに始まっている取り組みや、「公正な移行」の望ましい姿、そして日本ができることを皆さんとともに考えます。

アジア各国の気候正義運動の最前線で活躍する人々の声を直接聞くことのできる貴重な機会です。ぜひ、ご参加ください。

[プログラム]

開会挨拶

Diana Khor 法政大学副学長

Hemantha Withanage FoE インターナショナル議長

第1部 14:00~15:00

気候危機のいま

アジア諸国での損失と被害の実態

The Loss and Damage caused by climate change in Asia Pacific region

パリ協定は世界の平均気温の上昇を産業革命以前と比べ1.5°C以下に抑えるという目標をかかげています。しかし、1.1°Cの上昇でも、各地で深刻な気候災害が発生しています。アジアのコミュニティでは何が起きているのでしょうか。最前線のお話を伺います。

- ・バングラデシュの事例 (FoE バングラデシュ)
- ・パプアニューギニアの事例 (FoE パプアニューギニア)
- ・インドネシアの事例 (FoE インドネシア)



第2部 15:10~16:20

脱炭素政策の裏側で

各地で進む、誤った気候変動対策

Under the name of Climate Solutions ~“False solutions” in our regions~

COP28では「化石燃料からの脱却」が合意されました。しかし、気候変動対策という名の下、化石燃料の利用を継続をしたり、新たな環境・社会問題を生み出したりする「誤った気候変動対策」が推し進められています。一体どのような対策が「誤った気候変動対策」なのでしょう？

- ・アジアにおける化石燃料開発 (FoE バングラデシュ)
- ・プラスチック問題と気候危機の関係 (FoE スリランカ/FoE 韓国)
- ・日本が推進するGXの課題 (FoE Japan)
- ・炭素市場の問題点 (FoE マレーシア)
- ・質疑応答



第3部 16:30~17:30

アジア諸国が考える公正な移行とは

私たちが目指す社会のあり方とは？

Panel Discussion “The Real Just Transition - What Japan can do for the Real Just Transition in Asia Pacific?”

第3部では、気候危機から抜け出すためにすでに始まっている取り組みや、脱化石燃料の社会を目指す過程において留意すべき点について、アジア太平洋のメンバーから紹介いただきます。私たちはどのような社会を目指すのか、そして、そのような社会の実現に向けて日本は何ができるか、パネルディスカッションを通じて考えていきます。

- ・登壇予定団体: FoE スリランカ、FoE フィリピン、FoE パレスチナ、FoE オーストラリア、FoE インド、他



English/Japanese

The Symposium will be held in bilingual.

*Spontaneous interpretation is available through the programme.
*全プログラムを通して同時通訳あり。

To check the full programme in English, read the QR code on the right or visit our website: <https://foejapan.org/en/>

[申し込み]

参加費無料 Free Entry

シンポジウムは会場参加とオンライン参加が可能です。いずれの場合も事前申し込みが必要です。右の二次元バーコードを読み取り、FoE Japanのサイトからお申し込みください。

要申し込み!



●主催

国際環境NGO FoE Japan、Friends of the Earth Asia Pacific
法政大学国際文化学部 (FICオープンセミナーとして開催)

●協力

Climate Action Network Japan (CAN-Japan)、NGOピースポート、NPO法人気候ネットワーク、NPO法人気候危機対策ネットワーク、WWF ジャパン、エコスタバババ、クライメート・リアリティ・プロジェクト・ジャパン、ワーカーズコープ連合会、開発教育協会 (DEAR)、環境文明21、国際環境NGO 350.org Japan、足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ、特定非営利活動法人アークス仏教国際協力ネットワーク

●問い合わせ

国際環境NGO FoE Japan

<https://foejapan.org/> info@foejapan.org
東京都板橋区小茂根1-21-9 03-6909-5983

